

満 一 年



昨年二月經濟界不振の際にも拘らず工事畫報を創刊致しまして満一ケ年になりました。

血に溢れ、肉に満ちたる『工事』を美しく紙上に盛りあけて世間に出した時、世人は初めて『工事』に目醒めました。

自分の工事を今日の前に美しく見せ付けられた時、工事擔當者は初めて自分の價値を知り、自分の力を知りました。

人生の陰慘なる方面のみを擔當する工事關係者が従來にない美しい自分の力を見つめて益々其工事に努力する事は工事畫報の新しい貢献の一つでありました。

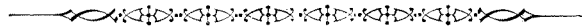
力と營利の外に何物も認めない様に思はれた『工事』の世界が工事畫報の存在に依つて如何に親しき人間味を表現した事でしょう。

近頃雑誌工政や工人等にすら工事狀況を圖版として時々加へる様になつた事を

見れば工事畫報の存在が益々社會的である事を證據立るものであります。

工事畫報の寫眞と圖版は其一枚と雖も見るべき眼を以て見れば限らない研究であり、限らない學問であります。圖中に現はれたる一木、一石も大なる使命を有する事に研究眼を注がれ度いものであります。

(二月中旬、岡崎生)



一 月 號

(現在日本の七大工事)

- 特載、寫眞、圖版、記事概目
卷頭言 歐米の先輩に呈す
- 一、議事堂の大建築(圖版六)
 - 二、丹那トンネル大工事(圖版十三)
 - 三、東京大復興工事(圖版十二)
 - 四、京濱國道六郷橋工事(圖版九)
 - 五、信濃川大發電所工事(圖版三)
 - 六、利根川改修江戸川工事(圖版七)
 - 七、神戸港大岸壁工事(圖版十)



二 月 號

- 一、銀座街基本建築表紙
- 二、東京市水道村山野水池工事(圖版九)
- 三、明治神宮外苑野球場の設計(圖版七)
- 四、銀座ビルディング工事(圖版十一)
- 五、隅田川相生橋工事(圖版十五)
- 六、上久屋水力發電工事(圖版十二)

電氣、機械設備等の工事狀況や、日本の工事技術の中樞をなして第一線に立つ人々等毎號紹介してをります。

一月號は特別で九十錢でありますが一ケ月以上の購讀者には普通料金で差上げます。

六ヶ月前金税共 金 四 圓